

Point!

ここがポイント!!

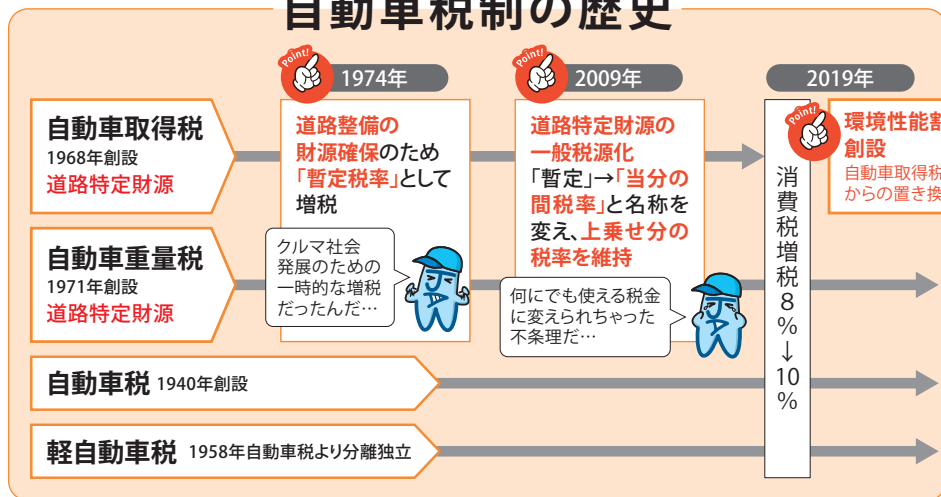
号外 2025年

複雑かつ過重で不条理な
自動車税制を変えるための
「勝負の年」です!

この問題を多くの人に
広げましょう!!



自動車税制の歴史



現行の税制



しかし、50年以上前から続く税制が
変わる大チャンスが到来!

もちろん、
ガソリン減税も一緒に
やっていくよ!

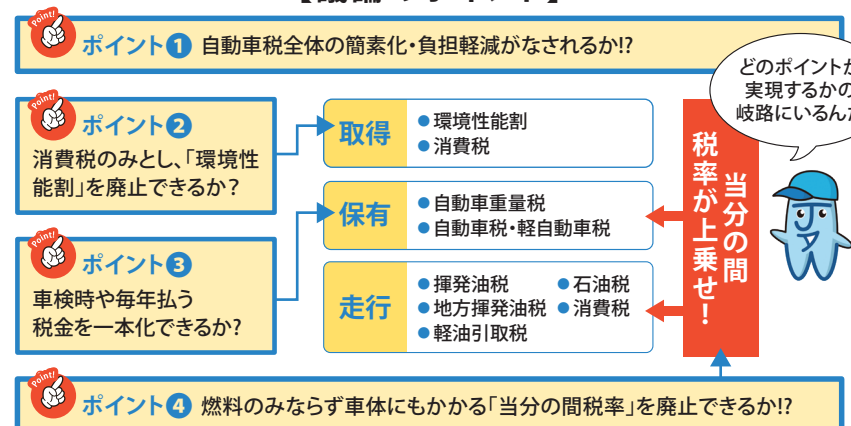
政府発表の「税制大綱」に明記あり

今年(2025年)12月までに、2026年度から適用の新たな税制を議論する



新たな税制は、みんなの声で変わります!

【議論のポイント】



ここが正念場!
みんなで声を
届けよう!

国民の評判をみて国は提案変更をしています。
SNSは強力な世論喚起になります。
イイね!やコメント発信等をお願いします!

いそぎき哲史参議院議員



アンケートでも全国から声を届けよう!

JAF税制アンケート

自動車総連



いろんなルートからたくさんの声を届けることが効果あり。
アンケートへのご協力をお願いします!

Bad!! **ポイント5** 国と地方の財源確保のため、税を付け替えるだけで、全体の税額が下がらない可能性あり

Bad!! **ポイント6** 電動化により、新たな税が追加される可能性あり

自動車関係諸税の改革に向けた顧問議員の活躍

2015年3月26日
参議院財政金融委員会
2018年3月22日
参議院財政金融委員会
2018年5月31日
参議院総務委員会



財務大臣・総務大臣から減税のネックは「財源確保の問題」との本音を引き出す！
一方で、自動車は生活の足であり、地方に暮らす人ほど税負担が重いという認識を打ち込む

2020年5月28日
参議院
国土交通委員会



自動車に課されている税金には矛盾が多い。加えて、自動車には重い税負担が課されている実態がある。産業を守る観点からも、関係省庁への働きかけをお願いする！

2022年12月2日
参議院
予算委員会



走行距離課税については検討すべきでない！

2023年12月
与党とのトリガー条項凍結解除に向けた実務者協議に臨む



2024年10月
衆院選に向けた政策発表



ガソリン減税を打ち出し、自動車の税金への注目も集める

2024年12月9日
参議院本会議



当分の間税率の即刻廃止によるガソリン価格引き下げと、自動車税の簡素化・取得時の環境性能割廃止をすべき！

2024年11月20日
自公国・三党政調会長対談



ガソリンの当分の間税率の廃止を目指すことの同意を与党に取り付ける



これ以前からも、顧問議員は国の議論を進めようと、ずっとずっと取り組んできているよ

2025年4月9日
参議院決算委員会



購入時、消費税と環境性能割の両方が課税されるのはおかしい！
環境性能割は廃止すべき！

2024年12月19日
参議院経済産業委員会



自動車関係諸税について、「簡素化と負担軽減」により、ユーザーの納得感を得られるよう、税制議論を行ってほしい！

2026年税制改正大綱

まずは、この大綱に私たちの声を届けることを目指し、取り組んでいるんだ！



2025年
通常国会

臨時国会

2025年12月

2026年
通常国会

新しい税制
スタート

今
ココ!!



新しい自動車税制に向けた
制度設計の議論

新たな税制が決定！
→全国での制度変更準備へ

顧問議員
はまぐち誠
参議院議員



大切な
時期!!

税制大綱に向けた年末までの議論でも、
年明けの最後の最後の国会までも、
政府に、みなさんの要望を押し込んでいきます！



顧問議員
いそざき哲史
参議院議員

顧問議員が仲間の議員と取り組んだ政策「103万円の壁」進捗報告



年収が103万円（基礎控除等*の金額）を超えると所得税が生じることになりますが、この控除額を178万円に引き上げ税負担を軽くする法改正を求めてきました。

※生きるために最低限必要な金額「基礎控除等」には税金をかけない法律があります

2025年3月、衆・参議院で賛成多数で決定された内容

- ・年収200万円以下の人に限り、所得税がかかる金額を103万円から160万円に引き上げ
- ・ただし、所得制限が入ったことで新たな「壁」ができたことや、2年間限定の措置の条件が入る等、複雑な税制となった



不十分な内容に「反対」をしましたが、今回はこれで決着。
でも私たちは、まだまだあきらめずに、こうした年収の壁の見直しなど、
もっと手取りを増やす政策に取り組んでいきます！

